

しすい

編集・発行/酒々井町議会 〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171

ホームページ https://www.town.shisui.chiba.jp/static/chunk0001/http_model/contents/gikai/index.htm



災害から地域を守る 印旛支部消防操法大会

6月定例会のあらまし

印旛支部消防操法大会が6月28日に開催され、町代表として小型ポンプの部に第9分団(柏木)、ポンプ車の部に第1分団(酒々井)が出場し、日頃の訓練成果を披露しました。

6月定例会は6月2日から10日間の会期で開催されました。

町長より議案5件、議員より発議案1件が提出され、審議した結果、議案5件、発議案1件がそれぞれ原案のとおり可決されました。一般質問は11名の議員が、2日間にわたり行いました。



臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金などの補正予算を可決 P2~P3

地方創生により活力ある地域社会を形成など 行政報告 P5

町政を問う 議員11名が一般質問 . . P6~P12

6月定例会

臨時福祉給付金事業 子育て世帯臨時特例給付金事業 に3千965万9千円

一般会計補正予算などの議案5件、発議案1件を可決



安心して子育てができるまちづくりを推進 (写真は岩橋保育園の夕涼み会)

平成27年6月議会で可決された議案は次のとおりです。

議案

〔議案第1号〕
保育所等では准看護師も保育士とみなせるように

国の省令改正に伴い「保育士の数の算定について、保健師または看護師に加え、准看護師についても保育士とみなす」とこととされたため、町の条例も準じて改正するものです。

〔議案第2号〕
低所得者の介護保険料が軽減

低所得者の介護保険料の軽減について定める政令が公布されたことに伴い、第1段階および第2段階の介護保険料を、現行の年額2万3千400円から2

万1千100円に減額するものです。

〔議案第3号〕
給付金や施設改修事業に総額1億687万円を増額

補正の主な内容は、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金の経費として3千965万9千円、児童クラブの増設経費として308万9千円、学校給食センター設備改修事業として529万2千円、酒々井中学校グラウンド設計委託等として59万5千円、総合公園および街区公園の施設改修事業として1千549万8千円、道路改良事業および橋梁長寿化事業等として1千810万円など当初予算編成時点で見込めなかったものや緊急を要するものについて総額1億687万円を増額補正し、予算の総額を6億9千787万5千円にするものです。

〔議案第4号〕
役場分庁舎建設工事の契約変更

役場分庁舎建設工事の請負契

約について、当初見込めなかったものにより契約金額の変更が必要なことから、工事請負業者と2億8千80万円を2億9千559万6千円に変更する仮契約を行ったため、議会の議決を求めるものです。

〔議案第5号〕
墨地区配水管布設の工事請負契約の締結

墨地区配水管布設工事(2工区)について、5月26日に制限付き一般競争入札を実施した結果、古谷建設株式会社が落札し、同社と9千72万円で仮契約を締結したため、議会の議決を求めるものです。

〔議員発議によるもの〕
〔発議案第1号〕
議員の期末手当を特別職と同等の水準に

特別職の期末手当に準じて年間0・15月分を引き上げ、6月分を1・55月、12月分を1・7月分支給するための条例を制定するものです。

**議案に對する
反對討論(要旨)**

**【議案第1号】
保育の平等性や格差を
もたらずの反對**

地福 美枝子 議員

子ども・子育て新制度は、施設によっては保育士の資格を持たなくてもよく、市町村の研修を受けた者であれば保育士とみなす内容である。職員の配置に准看護師が加わることにについては反對ではないが、保育士の資格がなくても准看護師であれば保育士とみなすことは、保育士の配置条件を緩和することにつながり、保育の平等性や格差をもたらす児童福祉の理念から外れることであるので反對する。

**【議案第3号】
マイナンバー制度の
中止を求める**

竹尾 忠雄 議員

マイナンバー制度は、どんな安全システムを構築してもサイバー攻撃から絶対に守れると言いきれないことが今回の年個人情報報流出問題で示された。マイナンバー制度の情報が流出すれば、その影響は今回の比では

ないので、制度の中止を求める。大学院大学の授業を受けるため、管理職の住民協働課長が月に2回東京まで通うことは、業務に差支えると思う。この2点について反對する。

**【議案第4号】
工事に着手する前に
議会の議決を得るべき**

那須 光男 議員

分庁舎の鉄筋量が大幅に不足していることが県の指摘で知ったということは、余りにもずさんな設計業務ではないか。検討委員会の建設のコンセプトは、間仕切りを少なくし行政需要の変化に対応できる庁舎としていたが、防災無線設置の間仕切り建設費50万円、空調設備費150万円、動力配線設備費400万円を追加せざるを得なかった。災害対策本部設置の目的もある

ので、防災無線機器の設置を否定するものではないが、当初のコンセプトを変更するのであれば、工事に着手する前に議会の議決を得るべきである。

**【議案第1号】
工事金額の変更が生じた
時点で議会に諮るべき**

竹尾 忠雄 議員

議会の議決を求める案件であ

る。県から指摘され、強度不足、樹木伐採費用や鉄筋追加など、ずさんな設計により契約変更し、町民の血税を支出することは認められない。

また、分庁舎工事にあたり、1か月間建築確認申請を提出しなかつたことも疑問に思う。

**【議案第1号】
議員の期末手当は
廃止すべきである**

那須 光男 議員

分庁舎の工事請負契約を増加するものなので、議会の議決は必須条件である。額に変更が生じた時点で議会に諮り議決を経た後に変更後の工事をすべきであり反對する。

一時金、議員の期末手当は廃止すべきであると公約している。常勤であれば支給するべきだが、現在の議員体制は、非常勤であり、常勤ではないと訴えてきたので、承服しかねる。

また、特別報酬等審議会の答申を受けるべきものであり、議員で決めるものではないと訴えているので反對する。

議案と議決結果 (町長提出のもの)

番号	件名	付託常任委員会	本会議の採決結果		
			賛成	反対	結果
1	酒々井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生 (原案可決)	13人	2人	原案可決
2	酒々井町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	教育民生 (原案可決)	15人	0人	原案可決
3	平成27年度酒々井町一般会計補正予算(第1号)	※ (原案可決)	13人	2人	原案可決
4	工事請負契約の変更について	総務 (原案可決)	11人	4人	原案可決
5	工事請負契約の締結について	なし	15人	0人	原案可決

※印は総務・教育民生・経済建設の各常任委員会に担当分野を付託しています。カッコ内は委員会の審査結果です。

発議案と議決結果 (議員提出のもの)

番号	件名	提出者	本会議の採決結果		
			賛成	反対	結果
1	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平澤昭敏議員 他5名	12人	3人	原案可決

請願

【請願第1号】 義務教育費国庫負担 制度の堅持を要望

国民に等しく義務教育を保障するという観点から、財政的な最低保障として下支えしている義務教育費国庫負担制度の堅持を要望するものです。

【請願第2号】 平成28年度の教育予算 拡充を要望

子どもたちの健全育成をめざし、豊かな教育を実現させるため、震災からの教育復興、少人数学級実現のため教職員定数の改善、義務教育教科書無償制度、就学援助、総合型地域クラブの育成、公立学校施設整備、地方交付税交付金の増額について、国における予算の充実に要望するものです。

【請願第3号】 安全保障関連法の 慎重審議を要望

国会で安全保障関連法案を制定しようとしているが、他国が

行う武力行使の後方支援の拡大等を行うと自衛隊はもとより日本が標的となるテロの誘発も考えられる。

また、今まで日本は武力によらない国際貢献をしてきたからこそ、信頼を寄せる国が数多くあり、今後も同じ姿勢で国際平和を構築していくことが現憲法下で求められていることから、国会において国民の理解を得ながら十分な時間をかけて審議することを要望するものです。

請願に
対する
賛成
討論
(要旨)

【請願第1号、第2号】 国は責任を持ち教育 予算を充実すべき

地福 美枝子 議員

少人数学級は、勉強を丁寧に見ることができるので、国民の極めて切実な要求である。

教職員は、過労死ラインで働いても授業準備や子どもと接する時間がないという深刻な状況になっており、教員数の問題解消は急務である。国は、義務教育に對し負うべき責任を持って地方財政に負担を転嫁しないよ

うに行き届いた教育実現のために教育予算を充実すべきである。

【請願第3号】 廃案にすべきと思うが 十分な審議が必要

地福 美枝子 議員

戦争は、法律や決め事など、みんな吹っ飛んでしまうものだと思う。平和憲法9条を守りたい一人として、この法案は憲法違反であると思う。

憲法学者が、集団的自衛権が許されることは憲法違反であるなど、憲法に反するということを表明している。この法案は廃案にすべきと思うが、請願内容が十分な審議が必要という意見書になっているので、地方議会としても国に上げるべきものがあると考え賛成する。

廃案にすべきで慎重審議 は町民の声に込めるもの

竹尾 忠雄 議員

集団的自衛権行使まで憲法解釈を変えることは、憲法9条に定めた戦争放棄、戦力不保持、交戦権否認の体制を根底から覆すものであり、廃案にすべきである。安全保障関連法に関し、国民の理解を求めながら期限を切ることなく、十分な時間をか

けて慎重に審議することを求める請願書であり、多くの町民の声に込めるものであると思う。

請願に
対する
反対
討論
(要旨)

【請願第3号】 戦争を起こさせないため の重要な法整備である

小早稲 賢一 議員

日本の社会や国際情勢の激しい変化に對して、憲法と社会の現実との格差を早急に解消することが必要である。

この法案は、国民の生命と平和な暮らしを守り抜くためのものであり、絶対に戦争に加盟してはいけないという前提のもとに一国では守りきれない紛争やテロに對して、日本がより多くの世界の安定した秩序維持に貢献できるかであり、自衛隊が柔軟かつ効果的に活動でき紛争やテロを未然に防ぎ、戦争を起こさせないための抑止力となる重要な法整備であると考えることから、慎重審議の名のもとに戦争法案と決めつけ法案成立を先送りし、廃案に追い込もうとする意図が見えるため反対する。

※カッコ内は委員会の審査結果です。

請願の審査結果

番号	件名	請願者名	付託常任委員会	本会議の採決結果		
				賛成	反対	結果
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 関山邦宏	教育民生(不採択)	5人	10人	不採択
2	「国における平成28(2016)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連絡会 会長 関山邦宏	教育民生(不採択)	5人	10人	不採択
3	安全保障関連法の慎重審議を求める意見書に関する請願書	酒々井・九条の会 代表 西沢 輝芳 他36名	総務(継続審査)	5人	9人	不採択

報告

役場分庁舎建設事業の 年度繰越額が確定

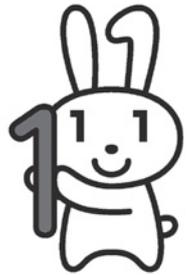
「役場分庁舎建設事業」の平成26年度年割額のうち年度内に支出を終わらなかつたものについて、※1 通次繰越処理を行ったので報告するものです。

一般会計予算の年度 繰越額が確定

「酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略事業」「社会保障・税番号制度システム改修事業」「プレミアム付商品券等事業」「ちびっこ天国施設改修事業」「道路改良および道路修繕事業」「プリミエール酒々井増築工事設計事業」など15事業について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

各特別会計予算(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)の年度繰越額が確定

「社会保障・税番号制度シ



マイナンバー広報用
ロゴマーク
「マイナちゃん」

テム改修事業」について、翌年度に繰り越す額が確定したので報告するものです。

水道事業会計予算の 年度繰越額が確定

「東酒々井地区配水管布設替詳細設計業務(その2)」「東酒々井地区配水管布設替工事」「酒々井地区先配水管布設替工事」「大崎地区先配水管布設に伴う舗装本復旧工事」および「墨地区配水管布設に伴う舗装本復旧工事」について、予算繰越しの処理を行ったので報告するものです。

下水道事業会計予算の 年度繰越額が確定

「下水道長寿命化計画策定業務」「下水道計画見直し業務」「馬橋地区下水道整備工事」「馬橋地区舗装本復旧工事」について、予算繰越しの処理を行ったので報告するものです。

「酒々井町まち・ひと・しごと創生本部」を設置

町長から議会に2件の行政報告

地方創生を推進

町の実情を踏まえた酒々井町人口ビジョンや町総合戦略の策定など地方創生の推進に向け「酒々井町まち・ひと・しごと創生本部」を平成27年4月1日付けで設置しました。



ふるさと酒々井創生アドバイザー会議には幅広い分野の方が参加

人口減少の克服、地域経済の発展に向け、町の創生本部を中心に下部組織となるワーキングチーム会議などにより全庁的に取り組んでいます。

併せて、産官学金労言などの幅広い分野・業種の方々からの意見を伺うため「ふるさと酒々井創生アドバイザー会議」を開催し、町全体で総合的に地方創生の推進について検討を進めます。

国からは、早期に町総合戦略を策定するなど地方創生を推進することで有利な条件で財源等が交付される可能性もあることから、この機をとらえて、医療の充実、子どもから高齢者まで町民誰もが安全安心に暮らし、国内外からの交流人口を積極的に町内に誘導を図るなどの具体的な方策について、早急に取りまとめ、当町の安全・安心なコンパクトシティとしてのまちづくりの優位性を活かし、一層充実させることで「ふるさと酒々

井」をより多くの人が選択し、満足できる町となるよう町創生本部を中心に町全体で地方創生を推進します。

ゴミゼロ運動に 5千200人が参加 町全体で美化活動

5月31日に、5千200人を超える多くの町民の皆様ならびに各種団体のご協力をいただき20・09トンのごみを収集することができました。

今後も、町民の皆様のご協力をいただきながら、きれいなまちづくり、地域ぐるみの環境美化活動を展開し、不法投棄のないまちづくりに努めていきます。



※1 通次繰越とは、継続費（事業の実施が2か年以上に渡る場合に、全体の事業費と各年度の事業費をあらかじめ予算で定めておくこと）の場合に、年度ごとの予算について、その年度内に支出を終了することができない経費を翌年度以降に繰り越して使用することをいいます。

ここが聞きたい

一般質問で町の考えを問う

一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし見解を求めるものです。

6月定例会の一般質問は、10日と11日の2日間に11名の議員が高齢化対策、道路施策、防犯防災対策など行政全般にわたり今後の対応策などについて、活発な質問を行いました。

「議会だより しすい」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町図書館（プリミエール酒々井内）で会議録をご覧ください。また、町のホームページからもご覧いただけます。

6月定例会の会議録は、9月上旬以降、閲覧することができます。



酒々井町マスコットキャラクター
井戸っこ（しすいちゃん）

問

まちづくりに関する意見書についてどのような検討をされたか

答

第5次総合計画に基づき各種施策を進めていく

問 平成25年9月議会において「酒々井町のまちづくりに関する意見書」を議員発議により提出した、その後どのような検討をされてきたのか。また、今後の考え方について伺う。

町長 指摘があった人口減少対策や地域経済の活性化、高齢化対策等について、第5次総合計画に基づき各種施策を進めてきた。今後は5か年戦略による「酒々井町人口ビジョン・酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し将来の方向性を示していく。

本佐倉城跡 追加指定の見通しは

問 ① 未指定地の追加指定については、向根古谷を考えていると町長が答弁をしてからすでに10年が経過しているが、今までの関係機関との協議結果と今後の考え方について伺う。

② 周辺整備と進入路についても10年前の答弁で計画を策定し、事業実施を進めるとのことであった。今後の周辺整備のあり方、考え方について伺う。また、進入路については、進捗状況といつ頃に完成するのかを伺う



越川 廣司議員

教育長 ① 未指定地の追加指定については、城跡を適切に保存するための長期的な課題として位置付けを行っており、引き続き、国・県や地元や地権者の意見を組み入れながら、関係機関と協議し、方法や工程などについて検討していきたい。

まちづくり課長 ② 進入路である町道02・011号線については、用地買収と一部の盛土工事を実施してきたが、今後も用地買収と買収が完了している箇所での盛土工事を実施していき、平成29年度末の完成を目標としている。

中川治水対策の考えは

問 平成16年の集中豪雨が発生して10年が経過した。災害はいつ発生するかわからない。そこで、調節池の整備等治水対策の考え方について伺う。

町長 中川流域の治水に関する提言書に調節池の整備は最優先と位置付けられており、町としても最も効果的であると考えている。そのため、平成27年度から社会資本総合整備計画に位置付け、事業を進めていく。



大室台小、酒々井中の通学路（右側が未整備の歩道）

問

ふじき野の通学路を整備すべき

答

車道の舗装修繕工事に併せて歩道を検討

問 国道296号コスモ石油の交差点改良が完了したが、尾上・ふじき野2丁目地先から下がる歩道整備が10年以上も放置されている。通学路の幅員および安全確保のため、至急整備すべきと思うが町の考えを伺う。

まちづくり課長 片側に2メートルから3メートルの歩道が整備されており、当面は利用状況や安全性について注視していきたい。なお、本年度に車道の舗装修繕工事を予定しており、併せて歩道も検討していきたい。



御園生 浩士議員

医療施設の充実と連携について

問 幼稚園、保育園、学校に通う子どもたちが急病になった場合、医療施設で診察し、両親の勤務時間終了後、迎えに来るまで見守ることができないか、町の考えを伺う。

健康福祉課長 子どもに医療行為を行う際には、保護者の同意が必要なことから、保護者の同伴や受入施設の有無などの課題があるものと考えている。

中川流域の治水事業の推進を

問 20数年来、抜本的解決されず棚上げされている調節池の治水事業は、流域住民に多大な被害を及ぼしているが、事業を再計画し実施すべきと考えるが町の見解を伺う。

町長 過去に議会の理解が得られず事業化に至らなかったが、平成25年12月議会において「中川流域の水害対策として調節池設置を求める請願書」が提出され採択となったことから、平成27年からの5か年計画である社会資本総合整備計画に位置付け、事業を進めることとしている。

問

外国人が理解できるごみカレンダーを検討してはどうか

答

英語、中国語、韓国語で簡易的な掲示物を作成

問 今のごみカレンダーとごみ収集マニユアルは日本語表記だけであり、外国人の方が理解できず、曜日に関係なく分別もしないでごみ集積所に出しているが、町の対応を伺う。

経済環境課長 外国人によるごみの出し方について、多くの住民から意見をいただいていることから、英語、中国語、韓国語によるごみの排出、分別方法を表記した簡易的な掲示物を作成し、外国人転入者や自治会等に配布できるように検討していきたい。



町内のごみ収集状況

公衆無線LANの普及を

問 酒々井町にも多くの外国人が来町している。無料公衆無線LANを普及させ、国際化に対応すべきと思うが、町の対応を伺う。

経済環境課長 県が公衆無線LAN環境整備の補助制度を拡充し、整備促進を図っている。町においてもアウトレットやコンビニ等に整備されているが今後、環境整備の調査研究をしていく。

感震ブレイカーの設置の補助金を

問 当町は木造住宅密集地域も多く、停電し復旧後にスイッチが入ったままの電気器具から出火する「通電火災」に対応すべく、※2感震ブレイカーが有効とされており、設置方法も簡易である。ぜひ設置に対し補助金を出すべきであると思うが、町の考えを伺う。

総務課長 国により感震ブレイカー等の性能評価や設置にあたってのガイドラインがまとめられたところであることから、近隣自治体等の導入状況等を見極めながら、調査研究をしていきたい。



平澤 昭敏議員

※2 感震ブレイカーとは、地震の揺れをセンサーが感知し、あらかじめ設定しておいた震度以上の場合に配線用ブレイカーまたは、漏電ブレイカー等を遮断する器具です。

問

東酒々井と中央台、国道51号を結ぶ道路の計画の進捗状況は

答

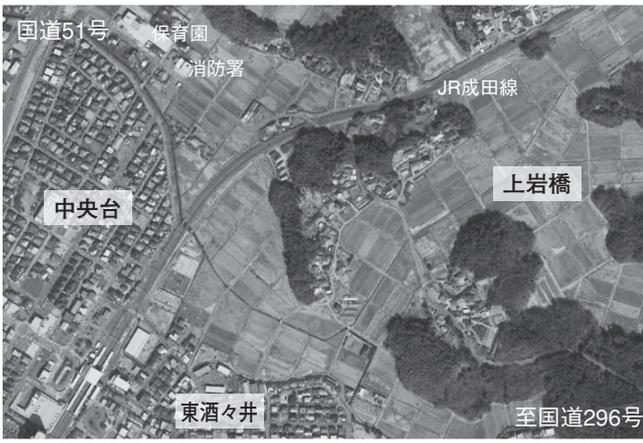
東酒々井と中央台の縁辺部に国道を連絡する道路を整備していく



濱口 信昭議員

問 東酒々井と中央台、国道51号を結ぶ道路については、平成14年9月の議会で「幹線町道として道路網構想に位置付け、中川踏切の混雑解消と役場、公民館等へのアクセス向上を目的に都市計画決定したものであることから、今後も地域住民の皆様の賛同が得られるよう努力していく」旨の答弁が当時の町長からなされていた。

しかしながら、現状は、徒歩の場合



道路整備が計画されている中央台と東酒々井の縁辺部

は、上野作歩道橋およびJR酒々井駅通路の利用が可能となり、以前と比較すると便利になっているものの、車を使用する場合、特に酒々井停車の下り線では、電車によって駅到着のかなり前から待たされる中川踏切を利用するしかなく、不便を感じている人も多い。今日に至るまでの進捗状況を伺う。

また、進捗がないということであれば、今後どのように進められるのか、または、計画が中止もしくは変更されたのであれば、これに代わる代替え案について、どのように考えられているか伺いたい。

まちづくり課長 都市計画道路については平成3年3月に計画決定したが、通過交通の増大等の環境問題を懸念する地域住民の方々の合意形成が図れなかったことから、長期未着手路線となっている。今後については、東酒々井と中央台の縁辺部を通り国道296号と国道51号を連絡する道路を整備することに、尾上、ふじき野、東酒々井地区と中央台地区との連絡強化を図っていく。

問

町長の給料月額を見直してはどうか

答

特別職報酬等審議会への諮問は考えていない



齊藤 博議員

問 現在の酒々井町長職の給料月額は80万円、平成6年に引き上げられて以来見直しをされていない。

小坂町長は、3期目の就任と同時に20パーセント削減をやめたので80万円に戻った。20年間変わっていないので、80万円が適正なのか、町民から成る「特別職等報酬審議会」に諮問する考えはないか。

人口予算規模がほぼ同じの栄町の町長給料月額は、72万円であり、町役場職員の給料も下がっていると思うが、このことについて町長の認識はどうか。

町長 特別職の報酬等については、職務の重要性、特殊性に応じて定めらるべきであると考えており、私の給料月額については、特別職等報酬審議会への諮問は考えていない。

なお、県内の町村長と比較しても、金額に大きな違いがないことから、妥当な範囲であると考えている。

町体育館の建設について

問 平成23年に「建設検討委員会」から提言がされたが、その後の進展がな

く利用者の不便さが増している状況である。進まない大きな理由は、町の財政負担の問題だと思っているので、具体的に伺う。「建設検討委員会」の提言案が国の条件をクリアしているのか。国の基準では、2千平方メートル以上と大規模で体力測定室等も必要と承知しているが、どうか。

生涯学習課長 町体育館は、東日本大震災以降、安全確保のため使用を見合わせており、利用希望の団体の方々は、³学校開放施設などをご利用いただいている。

町体育館の建設については、平成23年11月の町体育館検討委員会の提言を基に、昨年度、庁内委員会を立ち上げ、場所、規模、費用、国庫補助金等について、各担当課の意見を聴取し、検討している。

³学校開放とは、町における社会体育振興のために、学校の校庭、体育施設および体育設備を学校教育に支障がない限り町民が利用できるようにし、町民がスポーツに親しみ、心身の健全な発達を図ることを目的とするものです。



県道と町道が接続する交差点（左側が中川地区）

問 町道の整備と交差点改良による便利で安全なまちづくりを

答 交通安全施設等を設置し改善を図るが信号機設置は非常に難しい

問 県道137号線の宗吾入口交差点付近に接続する町道は、新堀地区の日常生活に欠かせない重要な道路であるが、現状は道幅が狭く、見通しの悪い道路である事から、安全性と利便性の向上に向け、町道の整備と信号機のある交差点に改良してはどうか。また、京成酒々井駅から近距離にある事から、アクセス道路を主体に、中川地区と一体的な開発を視野に入れた地区計画の検討は如何か伺う。

まちづくり課長 現在は道路改良計画がありませんが、見通しが悪く狭い場所



酒瀬川 健一議員

所については、交通安全施設の設置等により改善を図っていく。また、信号機については、宗吾入口と距離が近いことから、非常に難しいと思われる。地区計画については、次期都市計画マスタープランの見直しに併せて検討していく。

地域経済の活性化と賑わいに寄与する観光協会の設立をしてはどうか

問 町内の観光資源や集客力のある「ふるさとまつり」や「新酒祭」等の情報発信や、これらを有機的にコラボレーションする事による「まちおこし」の仕組み創りを、町民・行政が協働して進めていくことが肝要である。

観光産業導入による賑わいの創出と、地域経済の活性化に寄与することを目的に、観光協会を設立することは如何か伺う。

町長 観光事業者だけでなく、商店や農家、郷土を愛する団体などが核となり、民間主導による継続的な組織運営が望ましいと考えている。町としても支援策などの検討を深めていく。

問 プレミアム付商品券 発行事業の詳細を問う

答 町内の商工業者が多数加盟している町商工会を事業主体として選定

問 ① 5月12日に新聞折込で配布された「酒々井町プレミアム付商品券いよいよ販売開始」という町商工会のチラシおよび町が配布したニューしすい6月号のいづれにもプレミアム付商品券発行事業は国と県の税金で行われているということを明記すべきだったと思うが、明記しなかった理由を伺う。

② プレミアム付商品券発行事業部分の予算額を伺う。

③ 商工会に商品券発行事業を依頼したのは、一般競争入札なのか、随意契約なのかを伺う。

④ プレミアム3千円分9千5000セット



那須 光男議員

の総額は2千850万円ですが、予算額3千830万円との差額980万円がチラシや商品券の印刷代、販売手数料となると理解してよいのかを伺う。

⑤ 商工会に遠くて行けない、身体に支障があつて行けない、3日間とも勤務の町民の方には30パーセントのプレミアムを受ける権利がないのかを伺う。

⑥ 国や県の貴重な税金をつぎ込んでいく以上、公平公正に行うべきだ。

経済環境課長 ① 財源については、商品券を発行する目的が地域経済の振興等としていくことから、特に必要性は認識していない。

② プレミアム付商品券発行事業の予算額は3千830万円である。

③ 事業者選定方法については、町内の商工業者が多数加盟している商工会を事業主体として選定し、補助金を交付している。

④ (回答なし)

⑤、⑥ 販売方法については、6月26日から3日間販売し、売れ残った場合は、残りを販売する。なお、購入者には申請書を提出していただく。



プレミアム付商品券（見本）

商品券利用者の方へ
 ●この商品券は各販売店にてご利用いただけます。
 ●この商品券は現金との引換ができません。
 ●この商品券はつり銭をお支払いする事がありません。
 ●この商品券の使用期限は平成27年12月25日までです。
 ●この商品券の使用期限が過ぎた場合、無効となります。
 ●この商品券の欠損・盗難・紛失等に対して責任は負いません。
 ●この商品券に過失・盗難・紛失等のないものは無効です。
 ●この商品券を譲り渡したり、行したりしないで下さい。
 ●この商品券を偽り造りたり、行したりしないで下さい。

(発行・販売) 酒々井町商工会
 〒東原印旛郡酒々井町酒々井1082-1
 TEL 043-498-0063

問

東酒々井入口交差点に
歩道橋設置を検討すべき

答

信号機の時間調整等を警察と
協議し安全性の向上に努める



佐藤 修二議員

問 安全・安心のまちづくり関連について次の点を伺う。

① 国道296号の東酒々井入口交差点については、右折レーンが完成し、渋滞や右折の危険性が緩和されている。

この交差点内の横断歩道は、中学生の通学路になっているが、信号の時間間隔が短く、車の接近等があり、急いで渡らねばならず、非常に危険である。

子どもたちの安全な横断を守るため、また、左折車のスムーズな通過を図るためにも当該地に横断歩道橋設置を検討すべきと思うが、町の見解を伺う。

② J R酒々井駅自由通路東口東酒々井側の階段通路最下段部は、東日本大震災の影響で30センチメートル程度沈下が確認されていたが、沈下分30センチメートルは階段としての復旧ではなく斜面スロープとして取り付けられている。表面はタイル張りで雨天時にはすべる等の危険性がある。安全のためにも正規な階段とすべきと思うが町の考えを伺う。

まちづくり課長 ① 横断歩道橋は全国的には撤去されていく傾向にあるの

で、信号機の時間調整等を警察と協議しながら安全性の向上に努めていく。

② すべり止めブロックの範囲を見直し、場合によっては階段を1段増やすことも検討していく。

町の活性化と人口減少問題にどのように取り組むのか

問 全国的に人口減少化が進み20数年後には消滅する市町村が多くなるとテレビや新聞で報道されているが、町で生まれ育った子どもたちも成人し、社会に出て自分の生まれ故郷は酒々井町と答える方々も多くなっている。次の世代を担う若者たちのためにも今後町の活性化対策や人口減少問題にどのように取り組んでいくのか見解を伺う。

町長 本年4月1日に「酒々井町まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、町の活性化や人口減少の克服などの課題に全庁的に取り組んでいる。特に岩橋保育園を中心とした一貫した子育て支援拠点の整備を図るため※4「ネウボラ」などの事業化について優先的に検討を進めていく。

問

介護保険法改正の対応について
検討時期や考えを伺う

答

他市町村の状況を調査研究して
町にふさわしい事業の構築を図る



川島 邦彦議員

問 高齢化への対応について次の点を伺う。

① 介護保険法改正の主旨に沿った対応を急ぐべきで検討時期や考えを伺う。

② 高齢者対策は総合相談事業の機能強化が必要である。課題は①在宅介護の増加に伴う医師等の協力②介護の家族負担増加で仕事とのバランスやメンタル面の影響③65歳以上の非課税世帯が23パーセント（約4人に1人）の家計問題などである。そこでスキル強化とマンパワー強化の姿勢で検討する意

思はあるか伺う。

③ 東酒々井などの大規模開発は30年以上経過し高齢者世帯の地区別分布に片寄りはないか。また独居世帯はどのくらい存在するか実態を伺う。実態を踏まえ民生委員等との連携あるいは空き家の予兆対策にも活かす必要がある。

健康福祉課長 ① 昨年から国、県の説明会に包括支援センターと共に参加し、情報の共有を図っている。国から示されているガイドライン案やすでに実施している市町村の状況などを調査研究をして、町にふさわしい事業の構築

を図っていく。

② 課題となっているので、検討していく。

③ 高齢化率については、上本佐倉1丁目51・8パーセントで最も高く、東酒々井地区が次に高くなっており、ふじき野地区は10パーセント未満となっている。また、ひとり暮らしの高齢者世帯数は576世帯である。

駅前整備の考えを伺う

問 ① アウトレットモール開業から1年間の路線バス利用者は来場者の5パーセントにあたる30万人との実績報告があった。そこでバス待合所やベンチなどのおもてなし整備の考えはないか。

② 民間企業の協力などを含めて経済効果が期待される整備を行う考えはないか。

まちづくり課長 ① 通行者の安全を第1に考え、スペース、景観性を配慮し総合的に検討していく。

経済環境課長 ② 商工会等に協力を得ながら調査・研究をしていく。

※4 ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場所」を意味します。結婚から出産、育児までの子育て相談などを総合的に行い、安心して子育てができるように支援する取り組みです。

問 安全法制について町長、教育長はどのように考えるか

答 国で十分議論していただきたい



地福 美枝子議員

問 安倍内閣提出の「安全法制」について、町長および教育長はどのように考えるか。

町長 国会で十分議論していただきましたと考えている。

教育長 国会で十分議論がなされるものと期待している。

教育委員会の制度改正

問 ① 教育委員会制度が改正され、首長に「教育大綱」が義務付けとなった。今回の改正をどのようにお考えか。

② 町の教育大綱はどのような手順でいつまでに作成するのか。

町長 ① 教育の中立性、継続性などを確保しながら、教育委員会と町長との連携強化が図れるものと考えている。
② 町教育振興基本計画を策定しており、この計画が定められている場合は大綱として位置付けることができるので、総合教育会議の中で検討していく。

子どもの医療費無料化

問 ① 子どもの医療費無料化が中学校3年生までとなり、大きな経済援助

となつている。さらに、病院へ行くたびにかかる1回200円をぜひ無料にしてほしい。無料にした場合の予算額はどのくらいか。
② 町がまとめた「子ども・子育て支援に関するニーズ調査報告書」をどのように受け止めているか。
③ 強い要望のある「児童館」「ファミリーサポートセンター」等の子育て拠点施設設置についてどう考えているか。

こども課長 ① 平成26年実績において積算すると約560万円となる。

② 子育ての状況や要望、小学生の放課後の過ごし方などが把握できた。

③ 岩橋保育園を中心とした拠点づくりをしていくが、「あいあいルーム」の実施日を増やし、昭苑幼稚園内に子育てルームを新設するなど拡充を図った。

介護保険料の引き下げ

問 特養の待機者数と町独自の減額制度をつくり、保険料の引き下げを。

健康福祉課長 入所希望者は59人、保険料については、国が平成29年度に軽減策を計画しているので注視していく。

問 安全な中学校グラウンドの早期実現を完成までのスケジュールは

答 完成までには数年を要する見込み



竹尾 忠雄議員

問 平成21年、25年、26年に開催された中学生模擬議会で「安全で広いグラウンドで後輩たちが活躍できるようにお願いしたい」「危険な思いをしている」「思い切り練習がしたい」「テニスコートを4面に」と生徒から再三訴えがありました。私は昨年12月議会で実態を調査し町に「新たな土地を確保し、テニスコートを移転すれば解決できるのではないか」と提案しました。本年3月にグラウンド整備計画図が出来ましたので次の点について伺う。

- ① 拡張する用地はどのくらいか。
- ② 完成までのスケジュールを伺う。
- ③ 体育館の雨漏りの抜本的な改修に



現在の中学校グラウンド

ついでの見直しを伺う。
こども課長 ① 測量エリアからの計算となるが、約8万平方メートルを見込んでおり、現在より約4万平方メートルの増加となる。

② 地権者の協力が必要なことから完成までには数年を要すると考えている。

③ 今年度に屋根改修工法検討業務委託を発注しているので、実施設計後、財源が確保できしだい改修工事を実施する予定である。

防災備蓄倉庫の整備

問 当町では町指定の避難所は11か所ですが備蓄倉庫、防災井戸が設置されているのは、小中学校3校です。平成27年度に墨地区のコミュニティプラザに備蓄倉庫を設置する計画でしたが、予算化されない理由を伺います。佐倉市では39か所の避難所すべてに倉庫と井戸が設置されたそうです。

総務課長 昨年度に計画の見直しを行うこととなった。防災備蓄倉庫は今後も整備を進めていく。

その他の質問

越川 廣司 議員

◆道の駅について

御園生 浩士 議員

◆町内医療施設の充実と連携について

◆ボランティア活動について

◆緑豊かな街づくりについて

平澤 昭敏 議員

◆空き家対策推進特別措置法の対応について

濱口 信昭 議員

◆今回の町議会議員選挙について

◆町総合計画について

齊藤 博 議員

◆高齢者対策について
コミュニティプラザの活用について

酒瀬川 健一 議員

◆通学路に係わる交通安全対策について

那須 光男 議員

◆議会議員選挙の選挙公報について

◆空き家対策について

佐藤 修二 議員

◆酒々井プレミアムアウトレット関連について

竹尾 忠雄 議員

◆持続可能なまちづくりについて

読みやすい紙面づくりを目指し

市町村議会広報研究会に参加

7月6日に千葉県自治会館で千葉県町村議会議長会主催による、市町村議会広報研究会が開催されました。

町議会からは、議会だより編集特別委員会の委員が参加し、議会報の基礎や編集技術等を学びました。

なお、議員改選に伴い新しい委員が決まりました。

【委員の構成】

委員長 酒瀬川 健一
副委員長 川島 邦彦

委員 平澤 昭敏
委員 江澤 眞一
委員 齊藤 博
委員 濱口 信昭



議会活動を適切に伝えるため研修

議員の資質向上を図るため

町村議会議員研修会に参加

8月3日にオークラ千葉ホテルで千葉県町村議会議長会主催による千葉県町村議会議員研修会が開催され、町の議会議員が参加しました。

研修では、現代における町村議会のあり方等について、東京農業大学教授木村俊昭氏、新潟県立大学田口一博氏から講演を受けました。



元気なまちについて講演する木村氏

千葉県町村議会議長会表彰



地福 美枝子 議員

6月1日に開催された千葉県町村議会議長会定例会において、地福美枝子議員が地方自治に特に功労があったものとして、特別自治功労表彰を受けられました。

役場分庁舎視察

町議会では、6月11日の定例会終了後、役場分庁舎の建設状況を事業者の説明を受けながら、視察しました。



災害対策拠点となる分庁舎を視察

9月定例会のお知らせ

次の定例会は、9月上旬に開会する予定となっております。会期の概要は、9月1日開催予定の議会運営委員会で決まります。会期の概要が決まりましたら、町議会のホームページやポスターでお知らせします。

また、本会議は、一般に公開され、傍聴することができます。傍聴席の定数は25名となっております。なお、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

☎ 496・1171

(内線251、252)